GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary
第2520地区

2025-2026
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2520
GOVERNOR: TAKEHIKO KATOH

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 02
特別月間テーマに寄せて …… 03
行事報告 …… 05
ガバナー公式訪問報告 …… 09
新入会員紹介・退会者報告 …… 14
クラブ会員数・寄付状況 …… 15
訂正とお詫び・寄付認証・お知らせ・
編集後記 …… 16

12 2025
月信
VOL.06

ガバナーメッセージ

「歴史を紡ぐ団結 ――――
日本・ウクライナICCと疾病予防の精神」

国際ロータリー第2520地区ガバナー

加藤　雄彦 TAKEHIKO KATOH

親愛なるロータリアンの皆さまへ

日本ロータリー史上初のICC締結という歴史的瞬間

まず皆さまに、心から誇るべき大きなニュースをお伝えしなければなりません。去る 11月17日(月)、日本ロータリー史上初めてとなる国際共同委員会(Intercountry Committee: ICC)設立に向けての覚書(MoU)の締結が日本国内の34地区のうち10を超える地区とウクライナ第2232地区の間で正式に締結されました。

ICCは、国境を越えてロータリアン同士が友情と協力を深め、平和の基盤を築くための重要な仕組みです。今回の締結は、戦火の苦しみにあるウクライナ国民に寄り添い、その復興を共に担おうとする日本ロータリーの強い意志の表れであり、“Unite for Good” の精神を体現するものであります。

この歴史的な出来事は、単独の地区やクラブの枠を超えて日本のロータリアンが団結し、世界と連帯する姿を示しました。平和の架け橋となるICCの締結は、未来に向けて新しい可能性を切り拓く大いなる一歩であり、今後の奉仕活動の羅針盤となるでしょう。

疾病予防と治療月間に寄せて

さて、12月は国際ロータリーが定める「疾病予防と治療月間」です。ロータリーが世界的に取り組んできたポリオ根絶活動はその象徴であり、医療へのアクセス改善、感染症対策、母子保健の推進など、多岐にわたる成果を生んできました。

しかし、疾病は身体だけに現れるものではありません。心の健康を守ることも、同じく大切な課題です。特にウクライナ国民は2022年2月24日以来、ロシアの侵攻によって多大な犠牲を払い続けています。家族や友人を失った人々、避難を余儀なくされた人々、日々の生活に終わりの見えない不安を抱える人々。こうした中でPTSD（心的外傷後ストレス障害)をはじめとする心の病が急増していることを、私は深く憂慮しています。

「疾病予防と治療月間」は、身体の健康だけでなく、心の健康にも目を向ける契機としたいものです。私たちロータリアンが寄り添い、希望を届ける活動は、小さくとも確実に人々を支える光となります。

ロータリーのビジョンとテーマ

国際ロータリーのビジョン・ステートメントは次のように記されています。

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change—across the globe, in our communities, and in ourselves.

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

そして今年の会長メッセージ “Unite for Good“ は、このビジョンの核心を端的に表現しています。ロータリーの存在意義は「団結」にあります。地域や国境を越えて手を取り合い、「善きこと」のために行動する――その積み重ねが、やがて世界に持続的な変化をもたらすのです。

今回のICC設立に向けた覚書の締結は、このビジョンを現実のものとする実践でした。自らのクラブや地区に良い変化を生み出し、その輪を社会へ、さらに国際社会へと広げていくロータリーの姿を、私たちは歴史に残る形で示したのです。

入会勧誘と退会防止の視点

クラブが「魅力あるロータリー」を体現できれば、その活動に共感する人々は自然と集まり、入会へとつながります。言葉で説明する以上に、クラブの実践そのものが最大の説得力を持ちます。また会員が退会を思いとどまる理由も同じです。「ここにいることで成長できる」「仲間と共に良い変化を生み出せる」と実感できることが、ロータリーにとどまる力となります。

シクラメンの花が示すもの

12月の花「シクラメン」は、寒さの中でひっそりと咲きながら人々を励まし続けます。その花言葉は「遠慮」「気配り」「内気な愛情」。これはロータリアンが心に刻むべき資質と重なります。声高に主張するのではなく、相手に寄り添い、静かに支えることが、信頼と友情を築く原点です。

ウクライナの人々に心を寄せることも、地域社会で孤独に苦しむ人に寄り添うことも、シクラメンのように控えめで確かな愛情と継続的な気配りがあってこそ実を結びます。

結びに

疾病予防と治療は、人類共通の課題です。身体の健康を守る活動と並び、心の健康を支える取り組みを忘れてはなりません。PTSDに苦しむ人々に寄り添うことも、ロータリーが果たすべき使命の一つです。

そして何より、11月17日のICC設立に向けた覚書の締結は、ロータリーが「平和と友情の使者」であることを全世界に示す歴史的な第一歩でした。どうかこの12月、シクラメンの花を思い浮かべながら、“Unite for Good” の精神を胸に、自分自身の中に、クラブの中に、そして地域社会に良い変化を生み出す行動を共に起こしてまいりましょう。

特別月間テーマに寄せて

疾病予防と治療月間によせて

～災害時医療の新しい形JMAT～

草刈耳鼻科院長

草 刈　千賀志（仙台RC）Chikashi Kusakari

災害時医療と聞いて真っ先に思い浮かべるのは、がれきの中で被災者を救う救急医療の姿だと思います。このような急性期の災害時医療は48時間以内に現場に駆けつけて救命救急活動を行うDMAT（災害派遣医療チーム）が担っています。DMATは阪神淡路大震災を契機に2005年に発足した厚生労働省による公的な医療チームで、発災後3－4日の超急性期に活動して被災者の命を救う最も重要なチームです。

しかし、DMATの救命救急活動終了後も被災地の復旧復興は長く続き、避難所には多くの被災者が滞在し、移動手段も失われ、頼みの医療機関も被災しています。このような時には別な形の災害時医療が必要とされます。その担い手が2011年の東日本大震災を機に本格的に活動を開始したJMAT（日本医師会災害医療チーム）です。JMATは、DMATの活動を引き継ぎ、災害急性期後に避難所などでの長期的な健康管理や地域医療の再生を支援することを目的としています。

東日本大震災の際、各地の避難所には多くの医療支援が入り献身的な活動が行われました。しかし避難所での医療には限界があります。レントゲンや採血などの基本的な検査もできず、衛生環境が悪く、手術もできません。継続的な治療ができず、患者さんの過去のデータもないという極めて脆弱な医療です。求められているのは被災前のようにかかりつけ医が医療を担う地域医療の再生です。

JMATは医師・看護師・薬剤師・事務担当の４名１組のチームで、従来の地域医療システムの復活をめざし被災地に質の高い医療を提供することを目指します。避難所では被災者の健康管理と公衆衛生支援など病気の予防を担い、治療はなるべく行いません。診療や投薬は地域の診療所や病院、薬局にお願いし、必要に応じて被災した診療所や病院で診療のお手伝いをします。

私も昨年能登半島地震発災1か月後の2月に七尾市の能登中部保健医療調整本部にJMAT宮城の一員として出務し3泊4日で避難所巡回と病院支援の人員調整の仕事をしてきました。避難所では、看護師・薬剤師とチームを組んで被災者に寄り添って様々な相談にのり、必要な場合は地域の医療機関へとつないでいきます。現地の要望をよく聞き援助の押し付けをしないことが肝要です。被災前にあった仕事とシステムの復活を、地元の方々の邪魔をしないようにそっと手助けをする、という新しい形の被災地医療支援は、まさにロータリーの職業奉仕の実践だと実感しました。

奨学生レポート

ロータリー財団 グローバル補助金奨学金奨学生

遠　藤　　俊

岩手県一関市出身。
研究先：米国国立衛生研究所（National Institutes of Health/ NIH）
研究テーマ：乳がん脳転移における新規治療の開拓
ホスト地区：第7620地区（米国メリーランド州）
ホストRC：Metro Bethesda

アメリカでは新学期が8月下旬にスタートします。6月から続いた長い夏休みが終わり、新年度から我が家の子ども5名全員が通学・通園することになり、約10年ぶりに妻は一人の時間を持てるようになったようです。

クラス替えに伴い、子どもたちは新たな友人関係を築きながら、楽しそうに学校生活を送っています。学校外では、小さな子ども同士が遊ぶ際に親が連絡を取り合い、「プレイデート」と呼ばれる交流を行います。私も時間が許すときには同行し、保護者の方々との会話を楽しませてもらっています。先日ご一緒したご家族は、柔道経験のあるお父さんがイタリア出身、お母さんがプエルトリコ出身という国際的なご夫妻でした。

学校では毎年、全学年の生徒の写真が掲載された「スクールイヤーブック（年次誌）」を購入できます。覗いてみると、実に多様な子どもたちで構成されており、「この子はガーナ、この子はウクライナ、この子はドイツや台湾」といった具合に、子どもたちは互いのバックグラウンドを自然に教え合っているようです。まさに移民の国アメリカ。お互いの出自が異なることを前提に関係を築くことが、幼いころから当たり前に受け入れられています。これは、私自身がもっと早く身につけたかった国際感覚であり、子どもたちが異なる背景を持つ友人と交流しながら、柔軟なコミュニケーション力や自己表現力、さらには互いの国について自然に学んでいく姿は非常に印象的です。親として、彼らが多様な価値観の中で成長していく過程を見守ることができるのは、大きな喜びです。

長男は州内外の強豪や己と戦い成長しています

耐熱タイルの焼け跡が印象的なスペースシャトル“ディスカバリー”

一方、研究の面では現在、アメリカの予算案の可決が難航しており、政府閉鎖（Government Shutdown）に伴い、留学先であるNIH（米国国立衛生研究所）も一時的に閉鎖となっています。そのため在宅勤務を余儀なくされ、実験を進めることができない日々が続いています。とはいえ、この機会を活かして、英会話の発音トレーニング（日本語にはない音が多く、口の筋肉が疲れます）や、これまで後回しにしていた論文執筆、データ解析、文献整理などに取り組んでおり、思考を整理する良い時間にもなっています。トランプ政権下では研究費の削減も検討されており、政治や社会情勢が研究環境に直接影響を及ぼすアメリカの現実を肌で感じることができているのも貴重な経験です。家族にとっても、私にとっても、新たな環境と変化の中で、それぞれが成長を実感する秋の始まりとなりました。今後も在米生活を通じて得た学びを、日本の医療・研究現場へ還元できるよう努めてまいります。

行事報告①

2025-26年度 米山記念奨学会 研修会

米山記念奨学会委員会副委員長
小野　照代（岩沼RC）

今年度米山記念奨学会　研修会は9月27日㈯11：00～江陽グランドホテルにおいて開催されました。ご来賓・地区役員・カウンセラー・クラブ会長・クラブ米山委員長さん総勢62名の皆様にご登録いただきました。RI第2520地区ガバナー加藤雄彦様、ガバナーエレクト柴田茂さまにご挨拶いただき、（公財）米山記念奨学会理事桑原茂様には奨学会の現状について教えていただきました。

奨学生ヘック・コンスタンチン・トーマスさん（国名；ドイツ・学校；東北大学・世話クラブ；仙台西RC）と、馬諾亜さん（中国・仙台大学院・岩沼RC）のお二人にスピーチしていただきました。

トーマスさんは奨学金半年でしたが、環境科学を研究していて、母国ドイツ・ベルリンへ帰国したら環境保護に取組み、人と環境の両方に携われる公園等で仕事に就きたいと話していました。そして、カウンセラー村山裕俊様（仙台西）と会場の皆様にドイツのお土産を渡しながら感謝の気持ちをいっぱい伝えて盛大な拍手をいただきました。

馬さんは、中国の伝統的な女性のスカート馬面裙（まめんくん）の衣装で、現在研究しているスポーツ科学と経済情報で皆様の役に立ちたいと話ました。中国古典楽器、葫芦丝（フルス）で青花瓷（せいかじ）という曲を演奏してくれました。皆様には映像で曲のイメージと中国の伝統文化が伝わり現代音楽と異なる雰囲気を楽しんでいただき、馬さんも盛大な拍手をいただきました。お二人ともに、地区の研修会にスピーチの機会をいただき、本当に感謝しておりました。

昼食後、豆辞典は佐藤徳子委員から、クラブ米山委員長の手引きは佐々木源悦委員より、地区の現状（寄付実績・寄付増進について）は副委員長の小野照代から、最後にロータリー米山記念奨学会事業と寄付金並びにWEB例会に関する特例承認申請について白鳥淳委員長からそれぞれロータリー米山記念奨学金事業について説明いたしました。

質疑応答で奨学金区分のYM/YD/YUの意味を質問されましたので、学部課程（YU）修士課程（YM）博士課程（YD）と、白鳥淳委員長より回答しました。以上で研修会の報告です。

62名の登録　会場:江陽グランドホテル

行事報告②

2520地区　米山記念奨学会副委員長

小野寺　勘 治（一関中央RC）

令和７年10月19日(日)に宮城県多賀城市、松島町周辺で米山奨学生、米山学友会、カウンセラー、米山学友会役員等27名の参加で研修旅行兼梨狩りを行った。

今年は、猛暑の影響など天候不順もあり、リンゴが不作であることを考慮し、昨年まで別々に行っていた「りんご狩りと研修旅行」を併せた形で実施したものです。

当日は、仙台駅へ9時集合、9時30分に東口に迎えの貸切バスで多賀城へ向けて出発。

≪多賀城市「多賀城南門」見学≫

地元のボランティアからガイダンス施設の説明を聞きながら散策。

南門は、蝦夷対策として724年に建設し以来、東北地方の政治の中心として国を治めていたもので、昨年創建１３００年祭を実施している。

≪利府町郷右近梨園にて「梨狩り」≫

利府ロータリー会長が経営する梨園で、「にっこり」という品種の大きい梨狩りを実施した。

≪多賀城和食の小島にて「昼食」≫

刺身、てんぷらなどがついた豪華な日本食の弁当で昼食。オーナーがロータリー会員とのこと。ゆったりと時間を取っての会食後、参加者の自己紹介で盛り上がり。

≪日本茶のミニ講座≫

矢部園店主による茶のおいしい飲み方講座を拝聴。

≪塩釜マリンゲートから松島までの観光遊覧≫

船内でわかめやカキのつくだになどを購入。
松島に到着後、笹かまぼこの製造(炭火で焼く工程)を体験。16時ごろ見学等を終え、仙台駅へ到着後17時頃解散した。

以上のような目いっぱいの弾丸コースであったが、多くの参加者から喜ばれる研修旅行となったと思います。

企画、プロデュースされた佐藤徳子委員には大変お世話になりました。

令和７年11月５日

行事報告③

END POLIO NOWチャリティーゴルフ2025

ポリオプラス小委員会委員長

菊地　茂樹（仙台北RC）

快晴の10月18日　表蔵王国際ゴルフクラブにて鈴木賢、森川両パストガバナー、2520地区8クラブのロータリアンが集い、「END POLIO NOWチャリティーゴルフコンペ」が開催されました。開会式には、加藤ガバナーからメッセージ（下記参照）が届けられ、全員真っ赤なTシャツで記念写真を撮り盛り上がりました。個人戦は仙台北RC新本会員、団体戦は仙台北RCが其々優勝し、表彰式では多額のCharityが集まりました。

Charity募金は、参加されたロータリアンの会員番号・所属クラブを明記し、ポリオ基金へ送金させていただきましたことを重ねて報告いたします。

ガバナーメッセージ

親愛なるロータリアンの皆さまへ

10月24日の「世界ポリオデー」を前に、今日の皆さまの一打が子どもたちの未来を救う力となります。

ナイスショットはもちろん素晴らしいことですが、実は“OB”も立派な社会奉仕です。

スコアが乱れるほどに寄付は増え、笑顔も広がります。

空振りすら楽しんで、友情と笑いに満ちた一日が、ポリオ根絶の一歩となりますよう　祈念します。

国際ロータリー第2520地区　ガバナー　加藤雄彦

「2025-2026年度ロータリー奉仕デー」

花巻市 後川沿い桜並木通清掃活動の報告

環境福祉委員長
岩井　昌弘（花巻北RC）

花巻北ロータリークラブは、昭和47年6月3日に創立して今年で54年目を迎えます。クラブ創立から6年後の昭和53年、奥羽山系を水源として街の中心地を横断し北上川に注ぐ後川沿いの道路が完成した際に、新しい桜の名所となるように、当時の「花巻北ロータリークラブ」がソメイヨシノの桜の苗木を寄贈いたしました。当時植樹された桜は、60本程であり、現在は49本を数える桜並木となっています。苗木の寄贈、植樹から46年の年月を経て、現在では幹も太く大きくなり、毎年綺麗な桜の花が咲く、市民にとっての花見の名所の1つとなりました。

市民にとって大切な場所となる事を想像し、奉仕の精神で行動を起こした先輩ロータリアンに敬意を表すとともに、今後も地域に暮らす人々にとって変わらず、満開の桜並木をご覧いただけるかけがえのない場所であってほしいという願いを込めて、今年も当クラブゆかりの桜並木の清掃活動を実施いたしました。

清掃活動の内容としましては、花巻北ロータリークラブ会員19名、事務局1名が参加し、桜並木約600mのゴミ拾いとほうきで枯葉や落ち葉を集め、約45分間の清掃活動を行いました。今後も桜並木の清掃活動を継続し、地域の方々にとって大切な場所を守り未来へ残していければと思います。

ガバナー公式訪問報告

第5分区 若柳・栗駒・築館ロータリークラブ（3クラブ合同）

■ 開催日：9月9日（火）　■ 会場：割烹 千鳥
■ 同行者：高橋 利光 ガバナー補佐

例会は、ロータリーソング、会長挨拶、幹事報告、ガバナー講評を行い、若柳RC新入会員へのバッジ贈呈等を行った。バッジをもらった新入会員がとても良い笑顔で、これからの活動を楽しみにしているようでとても良かった。

懇親会は、ガバナーを囲み、今年のロータリー活動について活発な意見が飛び交う、とても楽しいひと時を過ごせました。

（報告者：菅原 賢也／若柳RC 幹事）

若柳RC

栗駒RC

築館RC

第8分区 岩沼ロータリークラブ

■ 開催日：9月16日(火)　■ 会場：ホテル桃幸
■ 同行者：今野 茂男 ガバナー補佐

例会前の会長幹事会では、ガバナー公式訪問例会の予算について加藤ガバナーよりご指導をいただきました。各ロータリークラブにおいて、夜開催の例会においては、アルコール飲食を伴わないケースが増えており、女性会員や子育て世代(若い世代)の会員を増やしていくこと(参加しやすい例会づくり)の重要性を確認することが出来ました。

例会にて加藤ガバナーの温かくも力強いご指導を受け、クラブメンバー一同、改めて奉仕の原点と地域貢献の意義を再認識する有意義な機会となりました。今後も「地域をけん引するクラブ」として、会員一丸となり活動を推進していきたいと思います。

（報告者：森 俊久／岩沼RC 幹事）

第1分区 盛岡中央ロータリークラブ

■ 開催日：9月30日(火)　■ 会場：ホテルエース盛岡
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

加藤ガバナーは学校の校長先生だから、とメンバーが皆高校生に戻ったような気持ちで緊張して迎えた公式訪問でしたが、ガバナーはどこまでもソフトな語り口で豊富な情報をお伝えくださり、和やかな雰囲気の中で今年度の活動に向かう熱量を高めることのできた実に有意義な公式訪問でした。

また、当クラブの組織運営が素晴らしい、とお褒めの言葉を頂いたのですが、それは自らはさほど意識していなかったことでもあり、驚きと共にこれまでの歩みに自信を深め、2年後の創立40周年に向けて一層力強く歩んで行こうとのエネルギーを注入して頂いた思いでした。

さらに三上会長がスポンサーとなって入会した2人の新メンバーにガバナーからエンブレムをつけて頂き、彼らにとって生涯忘れられないロータリーライフのスタートとなりました。

（報告者：南郷 成民／盛岡中央RC 奉仕プロジェクト委員長）

第1分区 盛岡滝ノ沢ロータリークラブ

■ 開催日：9月30日(火)　■ 会場：ホテルメトロポリタン盛岡本館
■ 同行者：小山田 榮二 ガバナー補佐、柴田 茂 ガバナーエレクト

2025年9月30日(火)夜、加藤ガバナーと小山田ガバナー補佐の公式訪問を受けました。
印象に残った事は、病気の子どもを介護している会員が加藤ガバナーとお会いし、英語でとても楽しそうに会話していた場面です(内容は、私にはわかりませんでしたが)。

また、今回、加藤ガバナー、小山田ガバナー補佐と、今後の滝ノ沢ロータリークラブについてゆっくりご相談する機会となり、大変有意義でした。ありがとうございました。

（報告者：山口 淑子／盛岡滝ノ沢RC 会長）

ガバナー公式訪問 報告 2

第2分区 北上ロータリークラブ

■ 開催日：10月14日(火) ■ 会場：ブランニュー北上
■ 同行者：佐藤 克也 ガバナー補佐

会長幹事会では、総評として、当クラブの活動はしっかりと取り組まれているとの評価をいただきました。特に北上翔南高校への支援については、高い評価をいただきました。引続き、活動計画に基づき鋭意取組んでまいります。

一方で、標準クラブ定款の改定に伴うクラブ細則への反映についてご指導をいただきました。委員会組織の変更については、現状の委員会に置き換えても良いとのことでしたので、今後協議を進めていきます。

又ご講演では、クラブ優秀賞へのエントリー、奉仕活動への参加および寄付活動など、丁寧にご説明いただき、今後の活動の進め方に非常に参考となりました。

今回加藤雄彦ガバナーの熱い思いを受け止めましたので、みんなの思いをひとつに、楽しく取り組める活動を進めていきます。

最後に、加藤雄彦ガバナーにおかれましては、お忙しい中お越しいただき、熱心なご指導をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

（報告者：佐藤 晃司／北上RC 副幹事）

第2分区 花巻ロータリークラブ

■ 開催日：10月14日(火) ■ 会場：グランシェール花巻
■ 同行者：佐藤 克也 ガバナー補佐

第１部会長幹事会では、冒頭で加藤ガバナーより、活動計画書を読み込んで来ておりますので、文章を読み上げするような説明は必要ありません。時間を大事にしましょう。と、ご挨拶を頂き、一気に会場の空気感が変わり、気が引き締まる思いであった。そのうえで、昨年の事業報告及び各委員会の活動方針を説明し、その都度加藤ガバナーより的確なアドバイスを頂いた。

第2部講評では、ロータリーの歴史を学ぶと共にクラブ優秀賞の獲得によるクラブの活性化、我々のクラブが力を入れているぬくまるフードパントリー事業に関心と激励を頂いたうえで、「コストが大きくかかる事業は継続性が難しい」とご指導頂いた。

第3部懇親会では、各々気になることや他分区の現状を直接加藤ガバナーからお聞きするなど、有意義な時間を共有できたことを嬉しく思う。

（報告者：上田 直輝／花巻RC 幹事）

第2分区 北上和賀ロータリークラブ

■ 開催日：10月15日(水) ■ 会場：くさのイン北上
■ 同行者：佐藤 克也 ガバナー補佐

当クラブ会員の過去退会者の原因の把握確認（地区内クラブ数減の状況から）。クラブ役員の変更の原因や担う人材の安定対策。クラブとして何を活動するかの奉仕内容の明確化（＝薬物乱用の対策を掲げた当クラブ地区補助金プロジェクトの素案について、クラブ単独でなく複数クラブの賛意による協同化のアドバイス）。

年次クラブ総会の前に定款・細則を標準に沿うものとしクラブ組織の編成の有るべき姿の提案（エレクトの安定推移とノミニーの創設）。
新定款細則の提出から承認への手続きの流れと締切。女性の積極的役員起用やクラブ役職未経験者の起用による多様性のクラブ内での有り方の所感。クラブとして世界社会奉仕WCSの15,000円を拠出の提案（クラブとして国際奉仕の成立実績の為）。（以上会長幹事会）

RI会長の変更の経緯・理由。ビジョンステートメントと職業奉仕。クラブ優秀賞を目指して。POLIO END NOWの仙台育英学園高等学校インターアクトクラブのポスター製作過程のお話。尾身茂先生の招聘と告知と案内。地区補助金プロジェクトにまつわる会計分類、地区補助金３クラブ共同での活用事例として7/26開催の遠野、柳田國男生誕１５０周年記念シンポジウムの引用。更に他例としてウクライナ女子生徒６名青少年プログラムのクラブ協賛協業の経緯。日本からのウクライナに対しての初めてのインパクトとなった。盛岡と仙台の会計基準の相違の是正。ロータリー章典引用、ロータリーエンブレムの高潔性と交流におけるエンブレムを見たことによる安堵感。１番大事なのはクラブのフレンドシップでなくフェローシップでありわくわく感ある活動で盛り上げていくという事である。（以上クラブ例会）

（報告者：田鎖 幸司／北上和賀RC 会長）

ガバナー公式訪問 報告 3

第2分区 花巻北ロータリークラブ

■ 開催日：10月15日(水) ■ 会場：ガーデンリゾート風の季
■ 同行者：佐藤 克也 ガバナー補佐

（例会前の会長幹事会）

定款を標準に沿うものとする。直ちに取り組むことを加藤ガバナーにお約束しました。また、細則中のご指摘「すみれの会」規約については、来月クラブ内、理事会で確認する事といたします。

（クラブ例会・歓迎懇親会）

RI会長変更の経緯について。ポリオ根絶についての仙台育英学園高等学校インターアクトクラブのポスター製作過程について、そして、尾身先生の盛岡での講演会の告知と案内について。地区補助金プロジェクトの事例として７月開催の柳田國男生誕150周年記念シンポジウムについて、更に、日本からのウクライナに対しての初めてのインパクトとなった青少年プログラムの経緯。地区賦課金の変更について、ロータリーエンブレムの高潔性と交流について。日本、ウクライナ国際共同委員会の「手を取って未来へ」の素晴らしい歌と４つのテスト「善意を贈れば、いつかその善意が自分に戻ってくる」加藤ガバナー、本当にありがとうございました。

（報告者：熊谷 理子／花巻北RC 会長）

第2分区 北上西ロータリークラブ

■ 開催日：10月16日(木) ■ 会場：くさのイン北上
■ 同行者：佐藤 克也 ガバナー補佐

会長幹事会では、毎年開催している北上にある3RCでの合同例会の際に、何らかの奉仕活動を加えるというご提案は、活動をPRすること、また報道されることで、各RCのイメージ向上、ひいてはそれが会員増強につながる一連のサイクルになることを理解する機会となりました。

例会では、“UNITE FOR GOOD”をより具体的に、我々がイメージできるようご説明頂きました。ロータリーが世界規模であること、ロータリアン同士は仲間であることを、ガバナーご自身の活動からお話し頂き、改めて世界の中での我々のクラブという意識を持つことができました。

ご多忙の中、ご来訪頂きありがとうございました。 （報告者：福岡 弘義／北上西RC 幹事）

第2分区 花巻南ロータリークラブ

■ 開催日：10月16日(木) ■ 会場：グランシェール花巻
■ 同行者：佐藤 克也 ガバナー補佐佐

まず、インターアクト校を２校抱えていることについて、大変ではないかとご心配頂きました。地域の他ロータリーとシェアしている事例があるというアイデアも頂きました。

また国際奉仕について、新規の留学生受け入れ事業が中止になったことを報告したところ、国際共同委員会（ICC）における新たな寄付の話をして頂きました。その導入により、国際奉仕の実現を考えております。

標準ロータリークラブ定款と当クラブ定款の整合性についても触れて頂きました。定款の直し方についてご指導頂きましたので、直ちに役員会で承認を受け、アップデートしていきたいと思います。 （報告者：伊藤 拓帆／花巻南RC 幹事）

第6分区 塩釜ロータリークラブ

■ 開催日：10月17日(金) ■ 会場：グランドパレス塩釜
■ 同行者：佐浦 弘一 ガバナー補佐

恒例となっております地元・奥州一之宮である志波彦神社・鹽竈神社において、例会に先立ちクラブメンバーと共に正式参拝をいたしました。厳かな雰囲気の中、今後のクラブ活動の発展と会員各位の健康を祈念いたしました。

続いて開催された会長・幹事会では、クラブ運営および活動計画書に基づき、活発な意見交換を行いました。特に、クラブ定款・細則の見直しおよび五つの委員会編成の再構築についてご指導を賜り、早急に対応することを確認いたしました。

また、地区グローバル補助金申請に関しては、ガバナーご自身の豊富なご経験に基づき、申請手続きや進め方について多くのご助言をいただき、実務面でも大変有意義なご指導を賜りました。

その後の例会では、ガバナーよりパワーポイント資料を用い、地区の行動計画について分かりやすくご説明をいただきました。講話を通じ、ロータリアンとしての基本理念を再認識するとともに、奉仕の精神を改めて心に刻む貴重な機会となりました。

以上、実り多い公式訪問となり、クラブとして今後の活動推進に大きな指針を得ることができました。ありがとうございました。

（報告者：鈴木 美範／塩釜RC 幹事）

ガバナー公式訪問 報告 4

第6分区 松島・大和・利府ロータリークラブ（3クラブ合同）

■ 開催日：10月20日(月) ■ 会場：利府ゴルフ倶楽部
■ 同行者：佐浦 弘一 ガバナー補佐

ガバナー公式訪問は昨年に続き3クラブ合同で行い、クラブ毎に会長幹事会においてご指導頂きました。利府RCでは少人数クラブで委員会をまとめる方法として

①クラブ管理委員会
②奉仕プロジェクト委員会
③ロータリー財団委員会
④スマイル委員会

の4つの委員会があればクラブの運営は可能である。従来の型に拘らず現状に沿う運営方法を考え出していく。

そして、その後の合同例会の中では、伝統とは私たちが創るもので、伝統が私たちを創るのではないとの認識の元で活動していくことが望ましいとご指導を頂きました。

今まさに会員増強活動に苦戦しているところであり、大変参考になったガバナー公式訪問でありました。ご多忙の中での公式訪問まことにありがとうございました。

（山田 シズエ／利府RC 副会長）

第3分区 気仙沼・気仙沼南ロータリークラブ（2クラブ合同）

■ 開催日：10月21日(火) ■ 会場：サンマリン気仙沼ホテル観洋
■ 同行者：中野 貴徳 ガバナー補佐

会長幹事会では、当クラブの今後の活動・運営につきまして、ガバナーより貴重なアドバイスをいただくとともに、長年の課題である会員増強につきまして、非常に参考となるアドバイスを頂戴いたしました。

また、例会においても加藤ガバナーが熱くありながらも、和やかな雰囲気の中、今年度の国際ロータリーの方針、地区の方針をわかりやすくご講話いただきました。会員一同これからの活動に、より一層邁進していく決意を新たにいたしました。

（報告者：小山 太郎／気仙沼RC 幹事）

第6分区 塩釜東ロータリークラブ

■ 開催日：10月22日(水) ■ 会場：大石ビル1F（例会場）
■ 同行者：佐浦 弘一 ガバナー補佐

先日、加藤雄彦ガバナーをお迎えし、公式訪問に先立ち会長幹事会を開催いたしました。ロータリーの理念と、地域社会への奉仕活動など現実的なクラブ運営に関する多角的なご指導を賜り、深く感謝申し上げます。

また、クラブの現状や課題を率直に共有する中で、来年6月に控える60周年記念式典の準備や、今後の持続可能なクラブの方向性について、具体的かつ有意義な意見交換ができました。ガバナーの地域社会への奉仕にかける熱意と、実践的な助言の一つ一つが、会員一同にとって大きな羅針盤となります。

会員のモチベーション向上と魅力あるクラブづくりを目指し、この貴重な学びを今後の活動に活かして参ります。ガバナーの温かいご指導に心より感謝申し上げます。

（報告者：海老 達也／塩釜東RC 幹事）

第6分区 多賀城ロータリークラブ・多賀城 1300 ロータリー衛星クラブ

■ 開催日：10月23日(木) ■ 会場：ホテルキャッスルプラザ多賀城 ■ 同行者：佐浦 弘一 ガバナー補佐

今年度のガバナー公式訪問は、多賀城1300ロータリー衛星クラブ（以下T1300RSC）との合同例会という形式で開催いたしました。例会に先立ち行われた会長・幹事会では、クラブの事業や友好クラブとのかかわり方等についてご説明させていただきました。

加藤雄彦ガバナーからは、今後のクラブ運営の参考となる様々な貴重なご助言を賜りました。続く例会での講話においても多くの示唆に富む薫陶をご教授くださいました。素晴らしい機会をT1300RSCと共有させていただき、かけがえのない経験を積むことができました。大きな目標に向かって、さらに結束力を高め、強い志を持って歩んで行くことを皆で再確認した合同例会となりました。

（報告者：芦澤 卓也／多賀城RC 会長）

ガバナー公式訪問 報告 5

第6分区 七ヶ浜ロータリークラブ

■ 開催日：10月27日(月) ■ 会場：七ヶ浜国際村
■ 同行者：佐浦 弘一 ガバナー補佐

加藤雄彦ガバナーによる公式訪問は、当クラブ通常例会場の七ヶ浜国際村に於いて、加藤雄彦ガバナー、佐浦弘一ガバナー補佐、多賀城1300ロータリー衛星クラブ 足利 尚議長ノミニーをお迎えして行われました。
会長、幹事会では、加藤ガバナーに、今年度の岡崎会長方針「楽しいロータリー」の主旨をご理解いただくと共に、当クラブの現状や３ヵ年行動計画に対する暖かいご助言および定款の意義・細則のあり方等のご指導を賜りました。 また例会では加藤ガバナーより貴重な記念卓話を頂きました。
私たち今、何ができるかを考え、そして私たちができる事から実行し、楽しい例会、元気な活動に努めてまいります。 そして、クラブとしてチームワークと協力の精神を忘れずに、奉仕の活動を実践してまいります。
ご訪問に心から感謝申し上げます。

（報告者：渡邉 亨／七ヶ浜RC 幹事）

第6分区 陸前高田・大船渡・大船渡西ロータリークラブ（3クラブ合同）

■ 開催日：10月28日(火) ■ 会場：キャピタルホテル1000
■ 同行者：中野 貴徳 ガバナー補佐

会長幹事会においては、予定の30分より多くの時間を割いて頂き、色々なお話をお伺いすることができました。クラブ活動計画書については、震災にて殆どの物を失った中で、このように立派な計画書を作成してくれたと嬉しいお言葉を頂きました。また、震災より15年を機にお世話になった各クラブに訪問して恩返しをする事等のアドバイスや、大変なクラブへの恩送りなどを通して他クラブとの交流を深めていくことの有意義さについても教えて頂きました。
次に当クラブの長年の課題である会員増強については、他クラブの成功事例を交えつつ、ウェブ会員や入会金、会費等での工夫や、クラブ細則を見直して委員会の数を減らし、少ない会員数でも運営していく方法など、様々なアイディアを頂きました。各クラブそれぞれが今後の活動に希望を持てるような公式訪問だったと思います。ありがとうございました。 （報告者：菊池 淳也／陸前高田RC 幹事）

第2分区 前沢・奥州水沢東ロータリークラブ

■ 開催日：10月28日(火) ■ 会場：水沢グランドホテル
■ 同行者：安藤 早苗 ガバナー補佐

会長幹事会ではガバナーより標準定款の改定項目についてご説明をいただき、改定定款と実際のクラブ組織・活動内容との整合性を図る必要性を感じた。時勢にあわせてクラブ組織をコンパクトにすることも検討課題であると認識した。また衛星クラブの実例のご紹介もあり非常に興味深かった。
例会では、「改革へのためらいをなくすこと」を基調にお話をいただき、Rotary Vision Statement(2017年)により、かつての「親睦と職業奉仕」から「人と人との繋がりによるパワーで奉仕プロジェクトを実践し世界的インパクトをもたらしつつ前向きな変化を生み出す」という方向に進化してきている、ということを確認できた。つまり「団結と行動」。具体的には①クラブの戦略計画策定と実践②会員増強と会員の資質向上③奉仕とは寄付だけではなく知恵や時間を惜しみなく捧げること など。
また今年度2520地区では日本初の国際共同委員会を設立する旨報告を受け、作詞ガバナー、作曲高校生、歌ＡＩの「手を取って未来へ」が披露され、戦火に苦しむウクライナに思いをはせながら「自由と平和」について深く考える機会となった。

（報告者：阿部 靖彦／奥州水沢東RC 幹事）

第2分区 水沢ロータリークラブ

■ 開催日：10月30日(木) ■ 会場：プラザイン水沢
■ 同行者：安藤 早苗 ガバナー補佐

「よく頑張っていますね、今日も一緒に頑張りましょうね」、会長幹事会は張り詰めた緊張感の中スタートした直後、ガバナーのこの一言で我々は笑顔になりました。会長、幹事とも経験が浅いことを察してのこととは存じますが、パソコンをお開きになり、我々の事業計画書が、さらに良くなるように、たくさんのヒントを与えながら、具体的に導く姿は、教育者でした。「３年後のためだよ、次の年度へつなぐためにも」などモチベーションを挙げていただき、我々が後半戦にやるべき定款等の課題も明確にしていただきました。奉仕の理想の下、「ロータリーの灯を信じともに夢を運ぼう」と誓う時間でした。 （報告者：高橋 賢／水沢RC 幹事）

新入会員紹介

若柳 RC

佐藤（さとう）　秀紀（ひでき）
2025.9.1 入会
医療事務

二戸 RC

松本（まつもと）　好春（よしはる）
2025.9.30 入会
建設業

盛岡西 RC

川原（かわはら）　基幸（もとゆき）
2025.10.1 入会
行政書士

千厩 RC

阿部（あべ）　桃紅（とうこう）
2025.10.1 入会
保険業

古川 RC

三島（みしま）　聡（そう）
2025.10.1 入会
信用組合

仙台冠 RC

佐々木（ささき）　俊也（しゅんや）
2025.10.1 入会
電気機器･Web開発

仙台 RC

庄子（しょうじ）　雄大（たけひろ）
2025.10.7 入会
貨物自動車運輸

北上西 RC

中田（なかだ）　芳明（よしあき）
2025.10.16 入会
宗教(仏)

二戸 RC

大沢（おおさわ）　貴規（たかのり）
2025.10.21 入会
婦人服製造

盛岡 RC

小笠原（おがさわら）　清貴（きよたか）
2025.10.24 入会
林業

利府 RC

長谷部（はせべ）　照男（てるお）
2025.10.27 入会
建具工事業

仙台 RC

大山（おおやま）　健司（けんじ）
2025.10.28 入会
広告業

仙台 RC

横堀（よこぼり）　裕二（ゆうじ）
2025.10.28 入会
中央銀行

仙台宮城野 RC

高崎（たかさき）　陽輝（はるき）
2025.10.30 入会
建設業

古川東 RC

岩渕（いわぶち）　学（まなぶ）
2025.11.1 入会
建築業

退会者報告

クラブ名	氏　　名	職業分類	退会日
仙台 RC	成田　由加里	公認会計士	2025.10.28
仙台北 RC	鈴木　繁雄	教育ー学園	2025.10.31
仙台奥羽 RC	上原　研一	防災・保安	2025.10.31

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

宮古 RC

澤田　克司
2025年10月25日ご逝去
（享年81歳）
1990年11月16日入会

クラブ会員数・寄付状況

10月ロータリーレート$:	149

分区		No.	クラブ名	会員数（内女性）	財団寄付累計額（ポリオ指定）		米山寄付累計額
第一分区	久慈・二戸	1	久慈	24(1)	68,540	0	23,000
		2	二戸	47(5)	0	0	0
		3	種市	17(0)	0	0	0
	盛岡	4	盛岡	71(2)	508,245	64,738	535,000
		5	盛岡北	35(3)	157,493	157,493	68,000
		6	盛岡西	22(2)	250,868	92,735	0
		7	盛岡南	47(2)	491,700	149,000	146,000
		8	盛岡東	25(2)	1,079,110	27,748	15,000
		9	盛岡中央	27(4)	193,700	0	57,500
		10	盛岡西北	42(5)	629,972	0	160,000
		11	盛岡滝ノ沢	4(3)	0	0	0
分区合計				361(29)	3,379,628	491,713	1,004,500
第二分区	花巻・北上	12	花巻	30(2)	283,100	0	130,000
		13	花巻南	30(1)	169,629	9,999	87,000
		14	花巻北	41(3)	0	0	0
		15	北上	37(4)	0	0	255,500
		16	北上西	20(4)	0	0	119,000
		17	北上和賀	21(4)	149,000	149,000	31,500
	奥州	18	前沢	9(0)	149,000	0	45,000
		19	水沢	16(2)	71,997	0	64,000
		20	奥州水沢東	36(7)	0	0	0
分区合計				240(27)	822,726	158,999	732,000
第三分区	一関・平泉	21	花泉	10(2)	0	0	110,000
		23	一関	13(1)	133,595	0	39,000
		24	一関中央	14(6)	266,008	0	256,000
	大船渡・高田・千厩・気仙沼	25	大船渡	28(2)	55,422	55,422	56,000
		26	大船渡西	31(5)	241,505	197,036	75,000
		27	陸前高田	17(0)	52,406	0	17,000
		28	千厩	22(3)	0	0	0
		29	気仙沼	19(0)	0	0	0
		30	気仙沼南	35(1)	0	0	205,000
分区合計				189(20)	748,937	252,458	758,000
第四分区	遠野・釜石	31	釜石	20(1)	10,001	5,000	60,000
		32	釜石東	29(3)	0	0	0
		33	大槌	6(0)	0	0	0
		34	遠野	10(2)	0	0	0
	山田・宮古	35	宮古	28(2)	0	0	60,000
		36	宮古東	20(1)	68,001	20,000	70,000
		37	山田	19(1)	0	0	0
分区合計				132(10)	78,002	25,001	190,000
第五分区	三陸	38	石巻東	41(0)	305,450	305,450	20,500
		39	石巻西	31(3)	230,950	0	0
		40	石巻南	20(1)	149,000	0	9,500
	登米・栗原	41	栗駒	13(1)	0	0	0
		42	築館	17(2)	0	0	0
		43	佐沼	57(6)	213,976	0	100,000
		44	若柳	27(5)	0	0	0
分区合計				206(18)	899,376	305,450	130,000
第六分区	大崎	45	古川	42(3)	104,999	0	121,000
		46	古川東	43(1)	251,759	0	200,000
		47	岩出山	11(1)	116,002	56,000	105,000
		48	加美	19(0)	14,900	0	0
	松塩	49	大和	5(0)	0	0	0
		50	松島	5(0)	163,900	0	10,000
		51	塩釜	28(1)	8,046	0	81,000
		52	塩釜東	11(1)	10,138	10,138	11,000
		53	多賀城	20(2)	43,793	40,813	20,000
			多賀城1300	23(7)			
		54	利府	8(1)	0	0	0
		55	七ヶ浜	13(1)	0	0	0
分区合計				228(18)	713,537	106,951	548,000
第七分区	仙台青葉	56	仙台	125(5)	4,400,770	253,951	1,236,000
		57	仙台泉	53(3)	71,297	14,900	243,000
		58	仙台青葉	45(0)	0	0	242,000
		59	仙台冠	22(4)	0	0	0
		60	仙台レインボー	11(3)	38,390	12,000	40,641
	仙台広瀬	61	仙台南	47(3)	673,540	0	238,000
			仙台南一白石衛星	18(8)	0	0	0
		62	仙台北	57(2)	175,820	175,820	147,500
		63	仙台東	52(0)	275,800	246,000	527,500
		64	仙台西	38(1)	0	0	165,000
		65	仙台宮城野	30(1)	10,075,823	5,015,204	145,000
		66	仙台奥羽	23(4)	73,987	0	24,000
分区合計				521(34)	15,785,427	5,717,876	3,008,641
第八分区	阿武隈	67	岩沼	26(2)	165,000	15,000	62,500
		68	名取	35(3)	255,003	65,006	52,500
		69	亘理	11(0)	93,870	13,410	22,000
		70	角田	15(0)	0	0	0
		71	丸森	15(0)	0	0	0
	蔵王	72	白石	20(3)	26,820	0	27,000
		73	柴田	19(1)	311,788	10,277	216,000
		74	村田	13(1)	0	0	52,000
		75	大河原	31(4)	92,484	0	90,000
分区合計				185(14)	944,965	103,692	522,000
地区合計				2,062(170)	23,372,597	7,162,141	6,893,141

RAC(4)	1	宮古RAC	5(2)
	2	古川東RAC	6(2)
	3	仙台RAC	3(0)
	4	仙台泉RAC	26(8)
RAC合計			40(12)

【訂正とお詫び】

2024-2025年度年次報告書の119ページ「米山記念奨学会寄付状況」の表におきまして、仙台南ロータリークラブと仙台南-白石ロータリー衛星クラブのデータが入れ替わって記載されておりました。お詫びして改めて訂正版を掲載いたします。

■米山記念奨学会資料

米山記念奨学会寄付状況

※ 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会による資料　　2024年7月1日～2025年6月30日　（単位：円）

第七分区	仙台青葉	仙台	7,000	850,500	605,000	1,455,500	126	18	0	14.3	11,551	38,914,750	52,237,883	91,152,633
		仙台泉	5,000	180,000	0	180,000	43	0	0		4,186	7,038,500	10,226,000	17,264,500
		仙台青葉	2,000	22,000	0	22,000	14	0	0		1,571	1,526,800	1,110,000	2,636,800
		仙台冠	1,000	10,000	20,936	30,936	10	0	0		3,093	394,218	1,088,318	1,482,536
		仙台レインボー	5,000	215,000	44,000	259,000	45	3	0	6.7	5,755	12,240,600	20,503,492	32,744,092
	仙台広瀬	仙台南	5,000	292,500	151,000	443,500	60	23	0	38.3	7,391	16,112,100	23,106,680	39,218,780
		仙台南-白石R衛星	1,000	18,000	6,000	24,000	18	2	0	11.1	1,333	55,000	38,000	93,000
		仙台北	5,000	262,500	400,000	662,500	51	2	0	3.9	12,990	13,644,500	16,890,000	30,534,500
		仙台東	5,000	200,000	295,000	495,000	40	7	0	17.5	12,375	11,102,300	16,374,891	27,477,191
		仙台西	4,500	225,000	938,000	1,163,000	51	33	0	64.7	22,803	6,075,750	21,738,515	27,814,265
		仙台宮城野	5,000	165,000	12,026	177,026	33	0	0		5,364	3,158,000	1,281,609	4,439,609
		仙台奥羽	2,000	51,000	0	51,000	25	0	0		2,040	193,000	0	193,000

※訂正済み24-25年次報告書　P118-119.pdfはホームページに掲載しております

寄付報告（10月認証）

■ロータリー財団

認　証	所　属	氏　名
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	盛岡北RC	田口　壮一
	宮古東RC	村上　秀樹
	岩沼RC	大友　浩幸
ポール・ハリス・フェロー	大船渡西RC	松田　福美
	石巻南RC	山下　晃毅

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所　属	氏　名
米山功労者 メジャードナー	花巻RC	佐々木史昭
	仙台東RC	鈴木　昇
	仙台東RC	八木　洵
米山功労者 マルチプル	盛岡南RC	天沼　久純
	気仙沼南RC	小山　清之
	古川東RC	澁谷　一郎
	仙台RC	阿部賀寿男
	仙台青葉RC	小村　亨
	柴田RC	牛澤　啓至
米山功労者	盛岡RC	三浦　義孝

表彰名	表彰クラブ
米山功労クラブ	古川東ロータリークラブ
	仙台東ロータリークラブ

第2520地区ホームページからのお知らせ　※詳細はホームページをご覧ください

「コーディネーターニュース2025年12月号」を掲載しました

2024-2025年度年次報告書の119ページ「米山記念奨学会寄付状況」の表におきまして、仙台南ロータリークラブと仙台南-白石ロータリー衛星クラブのデータが入れ替わって記載されておりました。お詫びして改めて訂正版を掲載いたします。

仙台泉ロータアクトクラブの「IZUMIコメフェス 山形芋煮販売・ポリオ募金・運営ボランティア」活動報告を掲載しました

仙台泉ロータアクトクラブのホームページが開設されました

東日本大震災で遺児・孤児になった青少年に支援しているロータリーの慈善団体「ロータリー希望の風奨学金」より、風の便りVol.11を掲載しました。

ロータリー財団月間 リソースのご案内を掲載しました

第2520地区　仙台事務所移転のお知らせ

【移転先】第2日本オフィスビル
〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町2丁目10-33　8階9号

12月19日(金)事務所移転作業の為、終日お休みを頂きます。

12月22日(月)より、新事務所にて業務を開始いたします。

編集後記

朝夕、肌寒い時期となってまいりました。
東北各地には連日のようにクマ被害のニュースが流れております。私自身、山菜取りや山歩きでクマとの接近遭遇は何回かありましたが、本来ツキノワグマも怖がりで、人の生活圏でこれほど出没情報が多いのは経験がございません。
自然のバランスが崩れてきている気もしますが、子供達の通学や日常生活の身近に危険があるということは事実ですので、生ごみを外に出さないとか、出没情報のあった場所には近づかない等々、自治体が出している情報にご注意くださいませ。
今年はクマがちゃんと冬眠してくれるのか心配です。
月信・ホームページ・ロータリーの友担当幹事　三浦 泰弘（仙台RC）